

令和7年度 八王子市立上柚木小学校 学校経営計画(概要版)

保護者・地域の理解と協力と信頼のもとに、創意工夫された教育活動で、子供たち一人一人の良さを生かし『生きる力』を育てる

- 学校教育目標**
- 明るくがんばる子 (体)
 - ◎仲よく協力する子 (徳) ※重点目標
 - よく考える子 (知)

目指す教師像

- ◇子供たちのために、熱意をもって行動できる教師
- ◇常に研修に励み、指導力の向上を目指す教師
- ◇一人一人の良さを生かす、個の特性に応じたきめの細かい指導ができる教師
- ◇教育課題の解決に向け、組織的な学校運営に参画する教師

- ◇子供・保護者・地域・教職員から信頼される教師
(感謝の気持ち・素直な心・謙虚な姿勢・誠実さ)
- ◇教育公務員として全体の奉仕者であることを自覚し行動する教師
(社会の常識・服務事故 0)

目指す学校像



学校経営方針～魅力ある上柚木小学校づくり『自分の居場所と仲間との絆』が感じられる学校の推進～

あ い さ つ ・ う や ま い ・ え が お ・ お も い や り わ た し の 学 校 「 上 柚 木 小 学 校 」

(わたし = 『子供・保護者・地域・教職員』が楽しみながら学校づくりに参加)



子供『学校が楽しくて通いたい』と思う学校

- ・学びの中で、できる、分かる、楽しいが実感できる
- ・自分も人も大切にし、互いに思いやり、優しさを感じる
- ・大切にされている、役に立っている実感がある
(自己有用感)
- ・子供たちと共に遊び、子供たちの声に目と耳を傾ける教師(相談できる大人)がいる

保護者『子供を通わせたい』と思う学校

- ・子供たちのために、子供たちと共に、が感じられる
- ・安全対策が十分であり、安心して学び、遊べる
- ・基礎学力、規範意識を定着させる
- ・保護者の要望には可能な限り応えられる
- ・いじめ、不登校に真摯に・誠実に向き合い、
子供と保護者に寄り添って対応する

地域『学校は地域の誇りだ』と思う学校

- ・気持ちよく挨拶できる子供たちがいる
- ・感謝と敬意の気持ちをもつ子供たちを育てる
- ・地域を大切にしようとする教育が行われている

教職員『上柚木小に勤めたい』と思う学校

- ・自分の居場所、楽しみながら学校を作る実感がある
- ・子供たちの成長、伸長に喜びを感じられる
- ・互いに尊敬、協力、信頼し合い、組織の一員として責任をもって気持ちよく職務の遂行できる
- ・教師自身も自らの成長を実感できる

学校経営の重点

目指す子供像と具体的な取り組み

小中グループの出口『「自己決定・自己実現」できる力』を育てる

= 『「生きる力」を育てる(①伝える力(気持ち・考えを言葉で)と相手を受け入れる力 ②選ぶ・判断する力 ③決める力(決断する))』

【確かな学力】自ら考え判断し行動できる子(知)

- 『できる・分かる・楽しい』が実感できる(INPUT/OUTPUTのバランス)
- ①取り残さない：市学力調査：はちおうじっこミニマム(6年生全員ができる)
 - ②基礎的基本的な事項、学力の定着(読み・書き・計算、学習用端末の活用)
豊かな言葉を育成する(読書活動の充実：読書週間・POPコンテスト全校児童参加)
 - ③主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(学びや知識の活用)
・子供が主語になる学習活動を行う(自分事ととらえる)
 - ・自分で考える、選べる(判断)、決められる(決断)、伝える(自分の言葉)
 - ④学習用端末の日常的な活用(学習や個に応じた効果的な・協働的な学びの活用)
 - ⑤上柚木小学校のレガシー(学習の成果を表現する機会・活動：発表する・伝える)
・運動会(体育)、「音楽」「図工」発表会(音楽・図工)、学校公開(授業公開)
 - ⑥家庭と連携した学習の自立と習慣化：家庭での学習「読み・書き・計算」「宿題」

校内研究

【豊かな心】自他を価値ある存在として尊重する子(徳)

- 『自分も人も大切する心』豊かな心の育成(まずは、自分を大切に)
- ①自他ともに尊重する態度の育成(受容すること・違い(多様性)を認めること)
 - ②自己肯定感・自己有用感(大切にされる実感・価値のある存在と思う実感)の育成
 - ③コミュニケーション能力の育成と向上(聞く力・話す力・伝え合う力をつける)
 - ④社会人となる基礎の育成(あいさつ・言葉遣い・礼儀・規範意識・自主自律)
「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える子供たちの育成
・人権教育、道徳教育の充実・たてわり班活動・ゆずっこフェスティバル
・いいところ応援計画・上柚木進化プロジェクト・小中合同の取組
 - ⑤学校が「安心できる自分の居場所」と感じられる学校づくり
いじめを許さない・重大ないじめに発展させない風土の醸成、不登校対策

校内研究

【健やかな体】心身ともに健康で、遊びや運動に親しむ子(体)

- 『なりたい自分になるために』めあてに向かって、諦めずに続ける
- ①キャリア教育(キャリアパスポートの効果的な活用と実践の積み重ね)
 - ②健やかな心と体を育む体育健康教育の実践を通した豊かな心の育成(校内研究)
○学びに向かう心と体の育成(興味、関心と基礎的な体力の育成と向上)
・体育の授業、体育的行事、休み時間や朝、放課後の遊びの充実
・「たのしい」「わくわく」「諦めない」「続ける」「すすんで」
・仲間との良好な関わり方を身に付けさせる(聞く・話す・伝え合う・認め合う)
 - ③遊びや体育、健康な生活等、『環境』の整備と取り組みを自分事として捉えさせる
○望ましい生活習慣と食育の推進
(もったいない、お箸名人、生活リズム表、ノーメディアチャレンジ)
○遊びの充実(休み時間と朝遊び・放課後遊び(ゆずっこひろばとの連携))

上柚木小学校のレガシー(子供たちの得意や頑張りを表現することを「チーム上柚木」で見守る)

安心・安全な学習環境の整備

- いじめ防止対策を徹底する(いじめはある、が・・・)
人権・道徳教育の充実(自他を価値ある大切な存在と尊重する心)
未然防止、早期発見・早期対応、重大ないじめに発展させない
・週1回のいじめ対策委員会の開催(いじめに向き合う時間)
- ・いじめの把握と認知、法に則った適切な対応、保護者との連携
(生活アンケート、いじめアンケートの実施)
- 月曜日6校時枠は「子供に向き合う時間」(学習・相談・教材研究)
- 落ち着いた学習環境と生活環境の整備、不登校等の支援体制の充実
(生活指導・教育相談の充実：校内委員会、SC、学校心理士等))
- 各種感染症予防・熱中症対策に留意(子供たちの学びを止めない)
- 災害時等のマニュアル確認・安全点検、安全指導の充実

保護者・地域・関係機関との連携

- 保護者・地域への積極的な情報発信(H&S、ホームページ等)
- 地域の教育力を生かした教育活動の展開
・学校運営協議会、ゆずっこひろば(放課後子ども教室)、
かみゆぎ小スマイルサポーターとの連携
- ・青少年対策委員会との連携(学校公開日：上柚木クリーン活動)
- 小中一貫教育(上柚木中学校、愛宕小学校)
小中グループの義務教育9年間で育てる力の出口を『自己決定・自己実現』とし、小中が一体となった取り組みを行う
- 保幼小連携(近隣保育園・幼稚園)
- 特別な支援や配慮が必要な児童や家庭と関係機関をつなぐ

組織的な学校運営、責任ある分掌運営

- 各職層(主幹教諭、主任教諭、教諭)の実践課題を明確にし、適切に職務を執行する
- 各分掌の担当が計画的に進行できる運営体制
(各部開催機会の創出の工夫、H&Sを活用したPDCAの見える化)
- 組織的な研究・研修を行い、授業力および生活指導力の向上に努める
- 服務事故防止
(日常的な指導と情報提供、服務事故防止研修、
体罰チェックリスト、ガイドラインの活用)
- 教職員の働き方改革、ライフワークバランスの推進
男女共同参画に基づく、男女ともに働きやすい職場

保護者・地域にお願いしたいこと

- 『地域の子供は地域で育てる(八王子市)』
子供・教職員・保護者・地域の相互理解と協力、信頼と思いやり
をもち、目標に向かって協力できる「仲間」「チーム上柚木」
- 【家庭の役割】
- ◎心の安らぎの場
 - 社会生活・基本的生活習慣の指導
(挨拶、言葉遣い、礼儀、マナー、善悪の判断)
 - 家庭での学習(学びの自立に向けた習慣を指導)
- 【地域の役割】
- ◎気にかけて 声をかけて 目をかけて
 - 大人のよい姿を見せる(挨拶、マナー、ボランティア活動)